※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２２

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次 （普通科）
使用教科書	「高校生の美術２」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術の創作活動を通じて、完成を高めるとともに、様々な表現能力を伸ばし、美術を愛する気持ちを養うことを狙いとする。
・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと、目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習する。
・一人ひとり思いや見方、感じ方が違うので、表現方法の特性や形態・色彩・技法などについて着目して、自分なりの感じ方や表現を深める。また、違った見方を「鑑賞」で共有すると、さらに美術への興味関心が広がり、知識や能力も深まる。

2　学習の到達目標

各生徒が個性を伸ばせるように様々な表現方法に取り組む。また、お互いの良いところを伸ばせるように積極的に鑑賞しあうことを重視する。
美術の幅広い活動を通して生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力をのばし美術文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力、創造的な技能	c:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わう。多様な表現方法や、美術文化に関心を持つ。 主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組む。	感性や想像力を働かせ、感じ取ったこと、考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を決めて創造的な表現の構想を練る。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ意図に応じて表現方法を工夫する。	美術作品などの表現の工夫や、芸術文化を理解する。 美術の良さや、美しさを創造的に味わう。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	美術Ⅱについて【オリエンテーション】 表現するとは何か」	オリエンテーション ・教科書を鑑賞し、多様な表現方法について学ぶ。1年と2年の違いを知る。大阪出身の現代アーティスト塩田千春の作品を見ながら、アートの可能性と社会におけるアートの役割について考える。 ・学校生活に役立つアートについて考え、デザインすることの必要性を考えてもらう。 ・美術の中で必要な知識とは何か。形、色、質感、構成、など具体的に表現力を高める、知識について説明する。 ・一つ作品を選び模写をする。	a:美術の多様な表現に興味をもち、これからの学習に意欲を高める。模写を通じて作品を深く知る。 b:美術作品の良さや美しさを知り、アートの役割について考える。 c:教科書から、現代の芸術の文化を学べたか。	教科書を読みこむ 画用紙による模写	模写の下書き。 教科書を見る姿勢	感想文 制作の様子 友人の作品を鑑賞する
	【デザイン】「大阪府立　大塚高校」をデザイン文字で描こう！	・レタリングを学ぶ。 自分オリジナルのレタリングを作る。 ・絵の具を混色する。 複雑な自分だけの色で着色する。	a:レタリングを知る。新しいレタリングを考える。 新しい発想を生み出す。 b:絵具を混色できたか。自分の色を作り出すことができたか。 c:友人の作品を互いに鑑賞しあう。	プリント 画用紙 オリジナルのレタリング	作品がしあがっているか。	感想文 友人の作品を鑑賞する
2	学内風景画を描こう	・遠近法を学ぶ。 ・補色を下地に塗り、本当の色を映えさせる。 ・季節の代わりを体全体で感じる。 ・	a:遠近法を学べたか。 b:混色した絵具で着色できたか。 c:自分の作品について感想文を書く。友人の作品を鑑賞し、感想を書く。	遠近法を使用したか。 補色を使うことができたか。	混色をし、複雑な色を作ることができたか。	感想文 友人の作品感想レポート 制作の様子

※令和４年度以降入学生用

3	シルクスクリーンでオリジナルキャラクターをつくる。	・シルクスクリーンの版画の構造をしる。 ・手順をふんで作品に向かう。 ・オリジナルのキャラクターをつくる。 ・細かい設定にする。 ・友人の作品を鑑賞、評価する。	a:オリジナルキャラクターを考える。絵にしたいと思える角度、デザインを考える。 b:自分が設定した年齢層への愛着へつながっているか考える。シルクスクリーンの仕組みを理解する。 c:自分の作品の評価を感想文に書く。友人の作品を鑑賞し、良いところを探す。	学習活動の様子 オリジナルキャラクターを作ることができたか。魅力あるキャラクターができたか。	制作の様子 自分なりの工夫があるか。	作品 感想文 友人の作品の感想レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度